



かがみ



## 子どもの健全育成のために、「地域ぐるみ」での取組を

先日、小林眞市長を会長とする「八戸市青少年問題協議会」が開催され、新年度の八戸市青少年健全育成の活動提言を協議し、取りまとめました。この提言は、八戸市の子どもたちを心身ともに健やかにたくましく成長させるために、家庭、学校、地域、企業、民間団体、関係機関に推進していただきたいことを提言したものです。

### 平成23年度 八戸市青少年健全育成の活動提言

#### 活動提言「子どもたちは地域からはぐくむ」という視点による連携強化

##### 〔提言内容〕

##### 1 「さわやか 八戸 あいさつ運動」の展開

八戸市内すべての家庭、学校、地域社会、企業、団体等のあらゆる場面で、「さわやかなあいさつ」が飛び交うよう啓発・参加を呼びかける。また、家庭や学校で最低限のしつけを身に付けさせるための「返事をきちんとする運動」「履き物を揃える運動」と、クリーンなまちづくりを目指して「ゴミ拾い運動」を展開する。

##### 2 青少年の健全育成の基盤となる「地域コミュニティ」の形成

- (1) 家庭や地域を巻き込んだ社会体験学習を展開する。
- (2) 青少年のボランティア活動の啓蒙を図るとともに、地域のボランティア活動への参加を促進する。
- (3) 社会人や地域人材の学校への活用を促進する。
- (4) 周りから子どもをサポートしていくために、日頃から地域住民や地域の諸団体、関係機関、学校などが連携し、情報を速やかに把握したり、巡回指導や声かけ活動をしたりする体制を整える。

##### 3 健全な家庭づくりへの支援

- (1) 「家庭の日」運動等の実践を通して、健全な家庭づくりへの促進を図る。
- (2) 母子保健の機会(育児に関する健康教室、健診等)を利用した子育て学習の充実を図る。
- (3) 子育てに関する体験や悩みが共有できる「乳幼児をもつ親たちの交流の場」の設定を図る。
- (4) 関係機関の広報啓発活動の内容充実と配付対象の拡充を図る。

##### 4 体験活動の推進

- (1) 青少年団体における活動など学校外活動への参加を奨励する。
- (2) 自然体験活動を推進する。
- (3) 身近な体験活動の場の活用を図る。

##### 5 いじめ問題、薬物乱用問題等、今日的な課題への適切な対応

- (1) いじめ問題の解決に向けた取組を図る。
- (2) 薬物乱用問題や喫煙防止、万引き防止等への対応を図る。
- (3) 社会環境改善のための地域ぐるみの取組を図る。
- (4) いのちの教育を含めた「生き方に関する指導」の充実を図る。

今回の協議会では、「家庭支援の取組」について協議しました。その中で、学校、地域社会、関係団体それぞれが当事者意識をもち、地域一体となって子どもたちの健全育成に取り組むことの必要性を再確認しました。

---

---

# 心を整える秘訣

---

---

“国民教育の父”と言われた森信三氏の「しつけ3原則」というのがあります。

1. 朝、あいさつをする
2. 呼ばれたら、「はい」とはっきり返事をする
3. はきものを脱いだらそろえ、席を立ったらイスを入れる

今回は、3番目の原則について考えてみましょう。

はきものをそろえるというのは、家に帰ってはきもの（クツ）を脱いだら、それを向こうむき（出口むき）にそろえておくということです。

ここで、円福寺の住職である藤本幸邦さんが書かれた有名な詩を紹介しましょう。

「はきものをそろえる」  
はきものをそろえると 心もそろう  
心がそろうと はきものもそろう  
ぬぐときにそろえておくと  
はくときに心がみだれない  
だれかがみだしておいたら  
だまってそろえておいてあげよう  
そうすればきっと  
世界中の  
人の心もそろうでしょう

私たちの環境は、私たちの心を映し出していますから、たとえば、心がみだれている時は、机の上や部屋も乱れてきますよね。同時に、環境も私たちの心に影響を与えていますから、机の上や部屋を片付けると、気持ちまで整理されます。

そして、まずは基本である足元から整えようということですね。

藤本幸邦さんによると、禅宗には「足元を照らして顧みよ」という意味の言葉で、照顧脚下（しょうこきやつか）という言葉があるそうです。そして、はきものをそろえることから修行が始まり、他にも様々な作法を学ぶそうです。

作法によってカタチを整えると、心まで整ってくるというわけです。

「カタチを整えると心が整う」

まず、はきものを脱いだらそろえる。そして、席を立ったらイスを入れる。

こうした日常的な作法を通じて日々の心が整えば、心のエネルギーを望む人生の実現に向けて、フルパワーで発揮することができそうですね。

これを機会に、私たちの心に影響を与えている日ごろの習慣を見直してみるのもいいかもしれません。